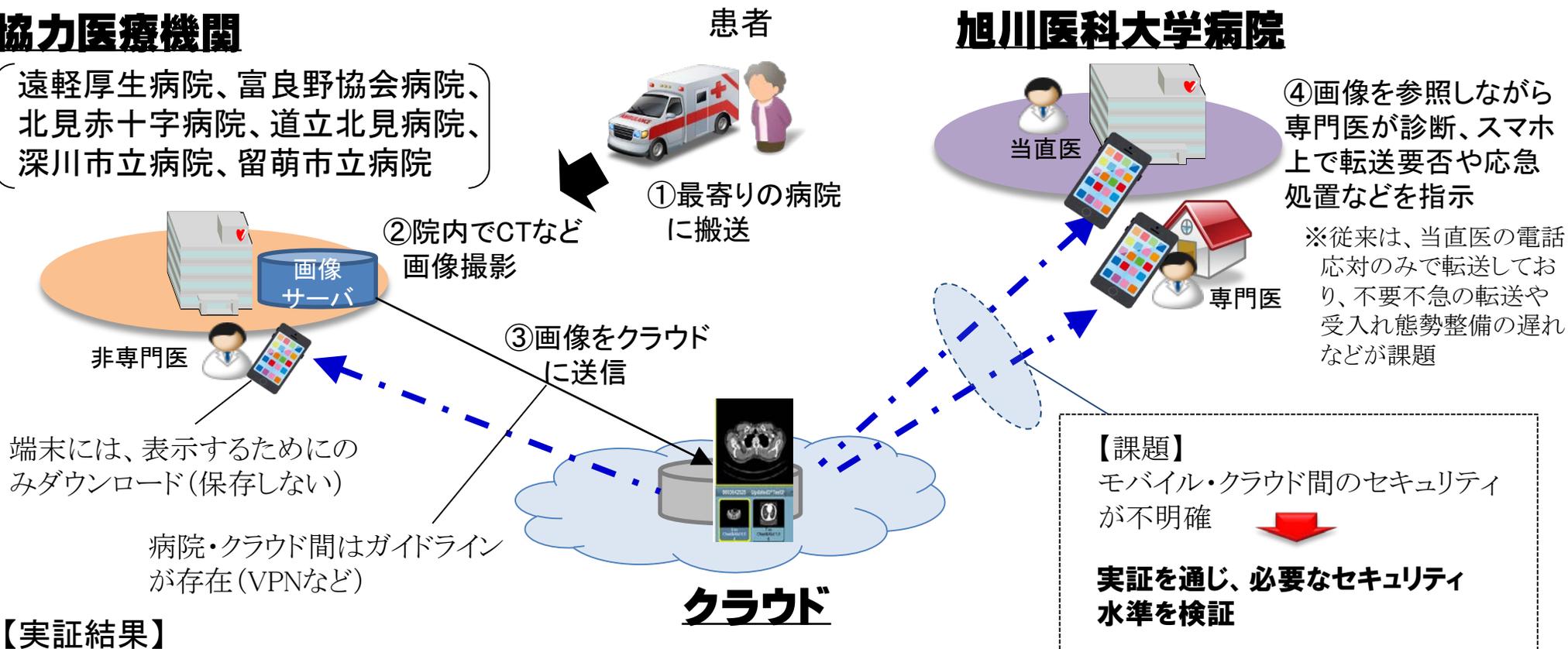


# モバイル端末を活用した遠隔医療モデル実証【H28当初予算事業】

- 総務省において、モバイル端末とクラウド間のセキュリティ水準の検証等を通じて、モバイル端末を活用した遠隔医療サービスの普及を図るための実証を実施。
- 旭川医大ほか6病院を中心とした(主に心臓疾患の)画像を用いた遠隔医療モデルを北海道医師会や旭川市医師会、北海道庁からの助言を得て実証(請負企業は(株)アルム)。
- 救急搬送において、治療までの時間の短縮や不要な搬送の削減等により診療の質向上や医療費適正化等を実現。

## 協力医療機関

遠軽厚生病院、富良野協会病院、  
北見赤十字病院、道立北見病院、  
深川市立病院、留萌市立病院



## 【実証結果】

- 患者到着から手術室入室までの時間の短縮(通常の1/3程度に短縮)
- 遠隔救急トリアージによる不要な搬送の削減(救急車のコスト(約45,000円/回)、救急搬送診療料削減)
- 治療準備に時間的・心理的な余裕が生まれること等により、医療の安全性の向上に貢献
- 実証を行った心臓血管外科から、麻酔科、眼科等に利用拡大。